



# 「がんばれ!チーム大分」

事務局 〒870-8503 大分市府内町3丁目10番1号

大分県教育庁体育保健課内

TEL097-506-5642/FAX097-506-1812

## 大分県スポーツ振興基金事業 平成27年度スポーツコーチサミット開催



福島大学人間発達文化学類 白石 豊教授

平成27年12月12日(土) 大分県庁舎本館2階 正庁ホール

県内指導者の資質向上を目的とした「平成27年度スポーツコーチサミット」(大分県スポーツ振興基金事業)を開催しました。

本年度は、平成20年の大分国体において、本県指導者の意識と指導力を高め、チーム大分を天皇杯・皇后杯獲得へと導いてくれた福島大学の白石豊教授に『スポーツ指導の勘どころ～その技と心～』と題し、御講演をいただきました。選手の動きを見抜くには「結果を見る」のではなく、「経過を見る」ことが大事であるという「観察眼」について、また「教え込む指導」ではなく、コミュニケーションを大切にして「引き出す指導」へ転換することが大事であるという指導のポイントを実体験を基に分かりやすく丁寧に話してく

ださいました。

その後のグループディスカッションでは、競技や世代の異なる指導者間で意見交換を図りました。参加者は、日頃から実践している指導法や成功体験など多くの意見を出し合い、情報の共有を行いました。また、「初めて参加させてもらったが、若いときにトップの話が聞くことができ良かった」「指導者とはどうあるべきか考えさせられた」といった感想が多く寄せられ、今後の「チーム大分」の競技力を支える指導者の皆さんにとって、指導力向上につながる意義ある研修会となりました。



グループディスカッションの様子

## チーム大分 ジュニアアスリート発掘事業

オリンピック等の国際大会や国民体育大会等の全国大会で活躍できる大分育ちのトップアスリートを発掘するために、県内5会場で一次選考会を実施しました。9月に参加対象者である県内全ての小学校6年生と中学校1年生に対して募集したところ、234名の子どもたちが一次選考会に参加しました。

一次選考会は、新体力テストでも行う握力や反復横跳びのほか、馴染みのない20m走やメディスンボール投げなど計9種目を実施しました。参加者は、慣れない環境のなかでも一生懸命に取り組んでいました。

今後の日程は、一次選考会を通過した100名程度の子どもたちが、1月16日(土)、17日(日)に2次選考会に挑みます。そこから60名程度に絞り、さらに2月に最終選考会を実施し、30名の子どもたちが「チーム大分ジュニアアスリート」として認定されることとなります。選考された子どもたちは、様々な育成プログラムを受講するほか、6競技(ライフル射撃・ボート・アーチェリー・カヌー・ウエイトリフティング・ホッケー)を体験し、その中で自分の適性にあった競技を選択し世界を目指していきます。

ライフル射撃・ボート・アーチェリー・カヌー・ウエイトリフティング・ホッケー)を体験し、その中で自分の適性にあった競技を選択し世界を目指していきます。



大分会場(県立総合体育館)の様子

がんばれ!チーム大分 ジュニアアスリート

# 第71回国民体育大会「いわて国体」に向けて

## ○九州ブロック大会 アイスホッケー競技

第71回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技の代表権をかけて、12月5日(土)に県選抜チームは鹿児島県と対戦しました。練習環境の厳しい中、2年ぶりの本国体出場を目指し、チーム一丸となって戦いました。試合は終始押し気味に進めるものの序盤に失った2点を逆転することができずに1-2で鹿児島県に敗れ、代表権の獲得はなりませんでした。

しかし、キャプテンの安部選手を中心に最後まであきらめずに「チーム大分」への想いを感じさせるプレーの数々に大きな声援が送られていました。選手・指導者の皆さん、お疲れ様でした!



## ○大分県一企業一スポーツ推進協議会

大分県内企業における特色あるスポーツの強化を目的とする「大分県一企業一スポーツ推進協議会」を12月2日(水)に大分市内にて開催しました。

推進企業34社から委員ら30名が出席し、新田博之会長(新日鐵住金(株)常務執行役員大分製鐵所長)が「昨年JOCと連携して開催した「アスナビ」を機に、トップアスリートの県内就職に向けた取り組みが始まっています。今後もさらなる協力をお願いしたい」とあいさつしました。その後、役員改選を行い、新田会長らを再任しました。また、今秋の和歌山国体に臨んだ推進企業の所属選手の活躍が紹介され、「アスナビ」の現状と課題について、JOCキャリアアカデミーの八田茂事業ディレクターから御講演をいただきました。



## アスナビレポート 自転車競技 一丸尚伍 (太陽の家)



### Q来年の目標について

2016年はオリンピック出場を目標に頑張っていきます。1月に日本でアジア選手権があるため、まずはそこで優勝できるように調整していきます。

### Q普段の練習で意識していることや生活のなかで競技力をあげるために意識していることは?

頑張ってもパフォーマンスは上がらないので、休養、栄養も積極的にとるように、メリハリをつけて練習しています。その分またキツイトレーニングを行うことができます。

### Q集中力の高め方は?

レース、練習ともに自転車にまたがるまでのルーティン

### 一丸尚伍(自転車競技)

所属：太陽の家/ブリヂストンアンカーサイクリングチーム

経歴：県立日出陽谷高-法政大卒

主な実績；

2013 全日本選手権トラック スクラッチ 優勝

2014 仁川アジア大会 4km チーム・パーシュート 銅メダル

2015 わかやま国体 1kmTT 2位

ンは決まっているので、一つひとつの動作、準備をいつも通りにしていくことで自然と集中力は高まってきます。

### Qピンチや苦しいときに考えること

「諦めたときが、負けたとき」という言葉をずっと大切に競技を続けています。調子の悪いときはレースでもこの言葉を思い返し、ゴールするまでは絶対に諦めないようにしています。また、ピンチや苦しいときこそ得られるものが多くあると思います。

### Qチーム大分の皆さんに一言

「チーム大分」と言うように大分県にはスポーツに多くの力を注いで頂いています。それによって私たち選手は競技に集中することができます。この環境を与えて頂いていることに感謝して、良い成績で応えられるようにしたいです。競技は違えど刺激しあって、競技力を高め、それぞれの競技で活躍できるように頑張っていきたいと思います!皆さんのご活躍を祈り、僕も目標に向かって努力していきます。



## ～ 大分県競技力向上対策本部 事務局より ～

○「がんばれ! チーム大分」Facebook ページを開設しました! ぜひ、ご覧ください。

(<https://www.facebook.com/team.oaita>)

・「チーム大分」の活躍の様子や競技力向上に向けた取組を発信しています

○大分県教育委員会ホームページ (<http://kyouiku.oita-ed.jp/sports.html>)

Facebook ページ

QR コード ↓

